



日本の中の西洋であった軽井沢は、明治以降、多くの文学者・芸術家らにより文学作品や美術作品に描かれてきました。

本展では「ことばの森へ—軽井沢を愛した文学者・芸術家たちスペシャル—」展と題して、明治以降に軽井沢を訪れ、創作活動を行った文学者・芸術家の作品の中から、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・戯曲・俳句・短歌・随筆から、私たちの心に響く“ことば”を集め、豊かな森のようにしてご紹介します。肉筆資料、著作、初出紙誌、絵画等約 200 点を展示。

紹介作家（予定）：有島武郎、正宗白鳥、室生犀星、芥川龍之介、片山廣子、北原白秋、萩原朔太郎、志賀直哉、与謝野晶子、野上弥生子、岸田國士、中西悟堂、寺田寅彦、川端康成、堀辰雄、立原道造、津村信夫、芹沢光治良、阿部知二、円地文子、吉川英治、井上靖、芝木好子、壺井栄、中野重治、佐多稲子、大原富枝、小島信夫、中村真一郎、福永武彦、加藤周一、加藤道夫、後藤明生、辻邦生、北杜夫、矢代静一、なだいなだ、谷川俊太郎、武満徹、三善晃ほか。

立原道造スケッチ 1936年末～37年初頭（推定）
*大学卒業論文下書き（原本）に混入



昨年5月、当館は横浜市立大学および庄司達也教授の協力の下、堀辰雄愛用の蓄音機1台（堀多恵氏より1985年受贈）を調査、修復致しました。分解、清掃などを通じて、蓄音機は1930年以降に国内で製造された1台であると判明。また全面的な修復により、SPレコードの再生が可能となり、堀が聴いていた当時の音色を鑑賞できるようになりました。会期中、ご希望の方には当館1階にて、堀が所蔵していたのと同じSPレコードの1枚、バッハ「ブランデンブルグ協奏曲」をお聴かせしています（予約制）。

「堀辰雄愛用の蓄音機」

●2022 文学散歩①

「新緑の信濃追分を歩く～追分の文学に逢いに行く～」
堀辰雄や立原道造ら、信濃追分ゆかりの文学者たちの足跡を、新緑のもっとも美しい季節の中に訪ねます。

日時：5月21日（土）13:00～14:30

料金：一般1,500円、友の会会員1,000円（資料代込）

定員：10名程度 ※要予約

案内：当館学芸員

追分宿駐車場（浅間神社前）に13:00集合

●2022 辻邦生山荘見学会①

2013年にご遺族より寄贈された辻邦生山荘を、現地にて学芸員がご案内します。

日時：6月4日（土）13:00～14:30

料金：2,500円、友の会会員2,000円

（資料代込、軽井沢駅より送迎あり）

定員：13名 ※要予約

案内：当館学芸員

2つのイベントのご予約は、次のEメール、FAX、電話にてお受けいたします。

ご予約 E-mail : kogenbunko@yahoo.co.jp FAX : 0267-45-6626 TEL : 0267-45-1175

軽井沢の豊穡な文学世界を、浅間山麓の自然の中で、お楽しみいただけます。

次回企画展

●夏季特別展「生誕100年 ドナルド・キーン展 — 軽井沢と日本語の美 —」

2022年7月16日（土）～10月10日（月・祝）

●「女流博物画家 メーリアンの世界展」 *堀辰雄山荘展示

2022年7月1日（金）～8月28日（日）

軽井沢高原文庫

<http://kogenbunko.jp>

THE LITERARY MUSEUM OF KARUIZAWA

入館料：大人800円、小中学生400円

（入館料には堀辰雄1412番山荘、有島武郎別荘「浄月庵」、野上弥生子書斎の見学も含まれています。）

長野県北佐久郡軽井沢町長倉202-3 TEL 0267-45-1175 FAX 0267-45-6626



交通 / 軽井沢駅（JR 北陸新幹線・しなの鉄道）または中軽井沢駅（しなの鉄道）下車、タクシー約10分、または町内循環・急行バス「塩沢湖」下車徒歩1分、「風越公園」下車徒歩12分。
自動車 / 上信越自動車道「碓氷軽井沢 IC」から15分。